

2022年12月期 決算補足説明資料

井関農機株式会社

2023年2月14日

1. 2022年12月期 業績の概要

2. 2023年12月期 業績予想



食と**農**と**大地**の
ソリューションカンパニー

1. 2022年12月期 業績の概要

ポイント

<2022年12月期 実績>

海外売上高は前期に続き過去最高を更新

国内は補助金反動や米価低迷・資材価格高騰影響等で減

国内 : 米価低迷・資材価格高騰による購買意欲減退
前期にあった経営継続補助金の反動

海外 : 海外売上高は過去最高

営業利益 : 各地域で価格改定を実施も、原材料価格高騰影響の全てをカバー
するに至らず収益を圧迫

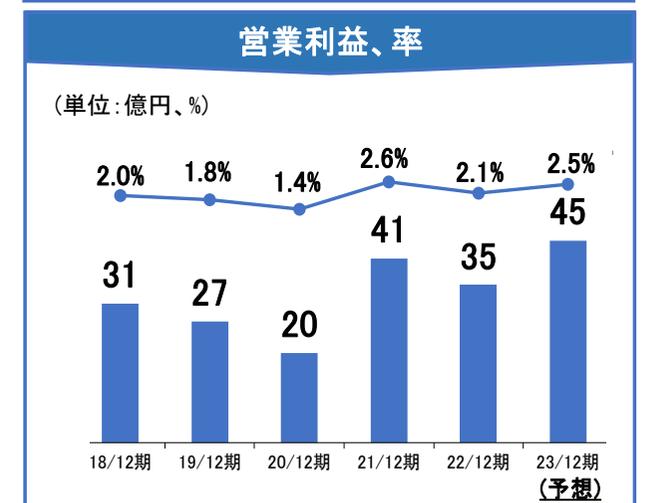
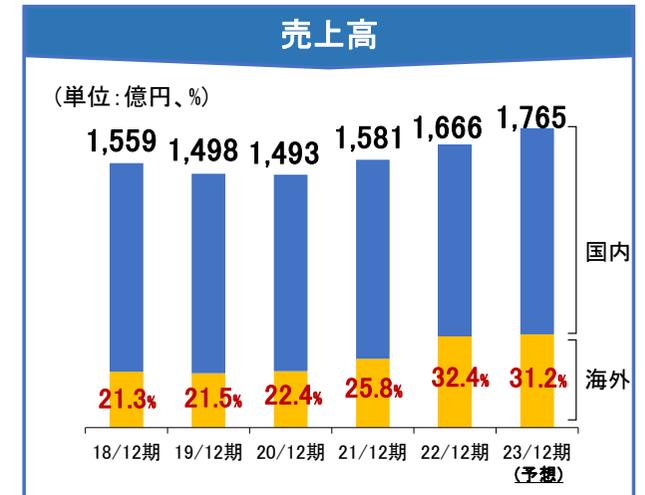
特別損益 : 持分変動利益、減損損失計上

<2023年12月期 業績予想>

増収・営業増益、期末配当30円

売上高 : 国内外ともに前期比増収

利益面 : 原材料価格高騰に伴う収益圧迫はあるものの、増収及び価格改定による売上総利益の増加に加え、構造改革と経営効率化の更なる取り組みにより増益を見込む



市場環境及び当社事業環境 (22/12期)

【凡例】 ✓ =市場環境 ➤ =当社事業環境

市場環境と当社事業環境	
✓ 新型コロナウイルス感染症の影響	
<全体>	<ul style="list-style-type: none"> ➤ サプライチェーンの混乱(生産用部品調達遅れ等) ➤ 原材料価格高騰
<国内>	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 展示会中止など営業活動に影響 ➤ 経営継続補助金の反動
<海外>	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 北米:コンパクトトラクタ市場が調整局面に入るも、現地在庫レベル回復に向けた当社出荷は続伸 ➤ 欧州:ライフスタイルの変化に伴う需要増、プロ向け販売も回復
✓ 米価低迷、資材価格高騰	
<国内>	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 農家の購買意欲減退
✓ ロシアのウクライナへの侵攻	
<全体>	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 販売面:この地域での営業活動を行っていないため直接的な影響はない ➤ 仕入面:サプライチェーンの混乱、原材料価格の更なる高騰懸念
✓ 円安の進行	
<全体>	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 営業利益で好転
✓ 原油等燃料価格高騰	
<全体>	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 物流費・操業費アップ

連結業績の概要

(2022年1月1日～2022年12月31日)

(単位: 億円、%)

	18/12期	19/12期	20/12期	21/12期		22/12期		前期比	※予想比
	実績	実績	実績	実績	比率	実績	比率		
売上高	1,559	1,498	1,493	1,581	100.0	1,666	100.0	+ 84	+ 1
(国内)	1,228	1,177	1,159	1,173	74.2	1,126	67.6	△ 47	+ 12
(海外)	331	321	333	407	25.8	539	32.4	+ 131	△ 11
営業利益	31	27	20	41	2.6	35	2.1	△ 6	△ 1
経常利益	26	11	17	46	3.0	37	2.3	△ 9	△ 8
親会社株主に帰属する 当期純利益	10	7	△56	31	2.0	41	2.5	+ 9	+ 6
為替平均 レート (円)	米ドル	110.2	109.3	107.0	109.0	131.3	+22.3	△0.9	
	ユーロ	130.9	121.6	121.5	129.8	136.9	+7.1	△0.1	

※予想比: 2022年11月14日業績予想との対比

国内売上高

前期比
△47億円

サプライチェーン混乱に伴う生産遅延や米価低迷・資材価格高騰による購買意欲減退
メンテナンス収入は前期水準を維持

(単位:億円)		18/12期 実績	19/12期 実績	20/12期 実績	21/12期 実績	22/12期 実績	前期比	※予想比	
農機 製 品	整地機	274	253	228	239	229	△ 10		
	栽培機	91	90	88	90	79	△ 11		
	収穫調製機	199	185	168	166	160	△ 5		
	小計	565	530	486	496	469	△ 27	△ 3	
	農機 関 連	作業機	202	200	204	220	205	△ 14	+ 10
		部品	148	150	156	153	156	+ 2	+ 2
		修理収入	55	57	58	59	58	0	△ 2
		小計	406	408	420	433	420	△ 13	+ 11
	計	971	938	906	930	889	△ 40	+ 8	
	施設工事	56	45	61	42	43	0	0	
その他農業関連	199	193	191	201	193	△ 7	+ 3		
合計	1,228	1,177	1,159	1,173	1,126	△ 47	+ 12		

主な増減要因(前期比)

- ✓ 農機製品はサプライチェーン混乱に伴う生産遅延、米価低迷・資材価格高騰による購買意欲減退に加え、経営継続補助金の反動により減収
- ✓ 作業機は経営継続補助金の反動
- ✓ 部品、修理収入などのメンテナンス収入は前期水準を維持

※予想比: 2022年11月14日業績予想との対比

海外売上高

前期比
+131億円

前期に続き過去最高の売上高を更新
北米、欧州を中心に増収、ISEKIドイツ連結子会社化による増収(+約36億円)

(単位:億円)	18/12期 実績	19/12期 実績	20/12期 実績	21/12期 実績	22/12期 実績	前期比	※予想比
北米	115	132	128	151	195	+ 43	△ 7
欧州	138	128	139	159	251	+ 91	△ 4
アジア	73	55	62	91	86	△ 5	△ 1
その他	4	5	3	5	6	+ 1	△ 1
連結売上高 合計	331	321	333	407	539	+ 131	△ 12

主な増減要因(前期比)

- ✓ 北米：コンパクトトラクタ市場が調整局面に入るも、現地在庫レベル回復に向けた当社出荷は続伸
- ✓ 欧州：ライフスタイルの変化に伴う市場の動きを捉えコンシューマー向けを中心に販売伸長、景観整備向け需要の回復に伴うプロ向け販売も増加
加えて、ISEKIドイツの連結子会社化(+約36億円)もあり増収
- ✓ アジア：韓国向けは増加も、中国向け半製品の出荷減などをカバーできず減収

※予想比: 2022年11月14日業績予想との対比

経常利益、当期純利益

経常利益
前期比

△9億円

経常利益 : 為替差益の増加はあったものの、前期にあった一過性の営業外収益の剥落、持分法投資損失拡大により減益

当期純利益: 減損損失の計上はあったものの、ISEKIドイツ連結子会社化影響や中国の持分法適用関連会社に関する持分変動利益など特別利益の発生により増益

(単位: 億円)	18/12期 実績	19/12期 実績	20/12期 実績	21/12期 実績	22/12期 実績	前期比
営業利益	31	27	20	41	35	△ 6
金融収支	△ 7	△ 7	△ 6	△ 6	△ 7	△ 1
その他営業外損益	2	△ 8	3	11	9	△ 1
経常利益	26	11	17	46	37	△ 9
特別利益	1	5	6	0	33	+ 33
特別損失	△ 5	△ 3	△ 94	△ 4	△ 19	△ 14
税 前 利 益	22	13	△ 71	43	52	+ 8
税、税調整額	△ 11	△ 5	14	△ 11	△ 11	0
親会社株主に帰属する 当期純利益	10	7	△ 56	31	41	+ 9

※予想比
△ 1

営業外損益増減内訳(前期比)	
・為替差益	+3億円
・受取和解金の剥落	△4億円
・持分法投資損失	△2億円

△ 8

特別損益増減内訳(前期比)	
・ISEKIドイツ連結子会社化影響 (段階取得に係る差益)	+7億円 (+5億円)
(負ののれん発生益)	(+2億円)
・持分変動利益	+25億円
・減損損失	△16億円

+ 6

※予想比: 2022年11月14日業績予想との対比

■特別利益

- 持分変動利益 : +25億円 中国の持分法適用関連会社が実施した第三者割当増資に伴い計上
 - 段階取得に係る差益 : +5億円
 - 負ののれん発生益 : +2億円
- ISEKIドイツの株式追加取得および連結子会社化に伴い計上

■特別損失

- 減損損失 : △15億円 井関松山製造所における事業用資産について、事業環境の変化に伴う収益性の低下により減損損失を計上
- 【事業環境の変化】
- ・最適生産体制構築の一環でPT.ISEKIインドネシアへ芝刈機を生産移管
 - ・乾燥機の生産終了(選択と集中を実施)

単体業績

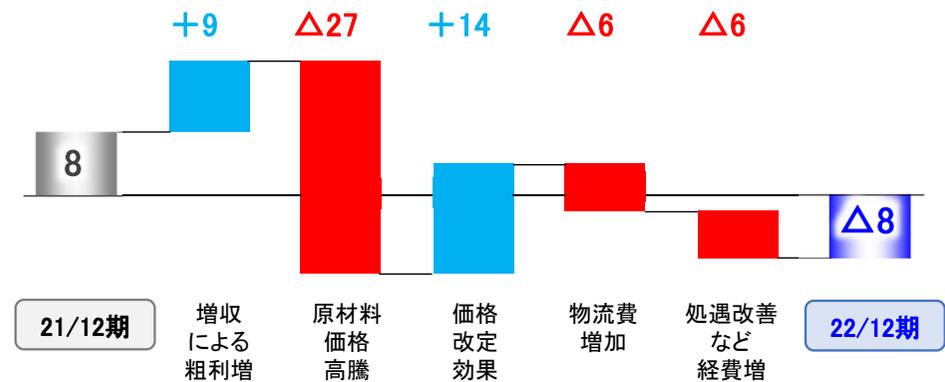
営業利益
前期比
△16億円

連結同様、価格改定実施も原材料価格高騰影響全てをカバーするに至らず収益を圧迫

(単位: 億円、%)

	18/12期 実績	19/12期 実績	20/12期 実績	21/12期 実績	22/12期 実績	前期比
売上高	931	900	792	917	974	+56
国内	657	617	539	598	580	△17
海外	374	282	252	319	393	+74
売上総利益	123	124	94	121	117	△4
粗利率	13.2%	13.8%	11.9%	13.3%	12.0%	△1.3%
販管費	118	114	107	113	125	+12
営業利益	5	9	△13	8	△8	△16
経常利益	24	22	△2	38	12	△25
当期純利益	18	15	△132	29	△1	△30

【営業利益増減内訳(前期比)】



特別損益増減内訳(前期比)

・関係会社株式評価損	△12億円
・貸倒引当金繰入額	△2億円

バランスシート

前期末比

【棚卸資産】

- ・商品及び製品：北米での現地調達部品不足による引き取り遅れやISEKIドイツ連結影響などにより増加
- ・仕掛品：サプライチェーン混乱により工場仕掛が増加

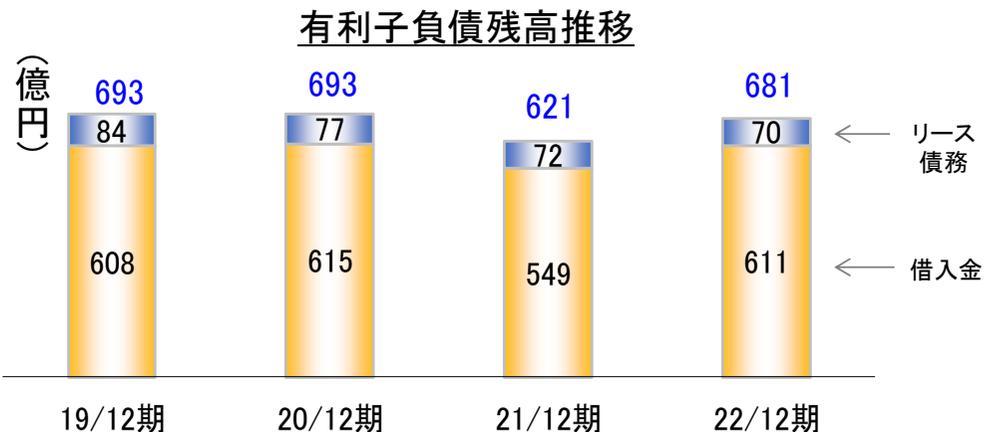
(単位:億円)

	21/12月末	22/12月末	増減		21/12月末	22/12月末	増減
現金	148	107	△ 41	仕入債務	392	454	+ 62
売上債権	215	275	+ 60	有利子負債	621	681	+ 60
棚卸資産	498	653	+ 154	(借入金)	(549)	(611)	(+61)
(商品及び製品)	(415)	(535)	(+120)	その他負債	196	204	+ 7
(仕掛品)	(70)	(103)	(+32)				
その他流動資産	48	57	+ 9				
流動資産計	911	1,094	+ 183	負債計	1,211	1,341	+ 130
有形固定資産	849	839	△ 10	純資産	665	723	+ 57
無形固定資産	22	23	0	(利益剰余金)	(176)	(211)	(+34)
投資その他資産	93	108	+ 15				
固定資産計	965	970	+ 4				
資産合計	1,876	2,064	+ 188	負債・純資産計	1,876	2,064	+ 188

有利子負債
自己資本
配当

棚卸資産増加見合いで有利子負債は増加
期末配当は30円

1. 有利子負債・自己資本



D/Eレシオ(倍)	1.0	1.1	0.9	0.9
自己資本比率(%)	34.2%	32.4%	34.5%	32.9%
有利子負債(億円)	693	693	621	681
純資産(億円)	692	624	665	723

2. 配当

(単位:円)

	21/12期 実績	22/12期 予定
期末配当	30	30

キャッシュ・フロー

キャッシュ・フロー

棚卸資産増加が影響し営業キャッシュ・フローは△33億円

(単位: 億円)	18/12期 実績	19/12期 実績	20/12期 実績	21/12期 実績	22/12期 実績	前期比
営業活動によるキャッシュ・フロー	76	105	96	142	△ 33	△ 176
（税金等調整前当期純利益）	22	13	△ 71	43	52	+ 8
（減価償却費）	67	68	69	65	61	△ 4
（減損損失、負ののれん発生益、段階取得に係る差損益、持分変動損益）	1	1	86	1	△ 15	△ 16
（売上債権の増減額（△は増加））	18	35	△ 18	4	△ 51	△ 55
（棚卸資産の増減額（△は増加））	△ 2	△ 7	32	24	△ 114	△ 138
（仕入債務の増減額（△は減少））	△ 10	△ 18	△ 8	21	54	+ 33
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 99	△ 71	△ 51	△ 20	△ 29	△ 9
（有形及び無形固定資産の取得による支出）	△ 68	△ 83	△ 66	△ 46	△ 48	△ 1
フリーキャッシュフロー	△ 23	34	45	121	△ 63	△ 185
財務活動によるキャッシュ・フロー	19	△ 23	△ 21	△ 83	20	+ 103
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△ 4	9	23	40	△ 41	△ 81

2. 2023年12月期 業績予想

2023年12月期 連結業績予想

連結
業績予想

前期比増収、営業増益
期末配当30円

(単位:億円、%)		18/12期	19/12期	20/12期	21/12期		22/12期		23/12期		前期比
		実績	実績	実績	実績	比率	実績	比率	予想	比率	
売上高		1,559	1,498	1,493	1,581	100.0	1,666	100.0	1,765	100.0	+ 98
	(国内)	1,228	1,177	1,159	1,173	74.2	1,126	67.6	1,215	68.8	+ 88
	(海外)	331	321	333	407	25.8	539	32.4	550	31.2	+ 10
営業利益		31	27	20	41	2.6	35	2.1	45	2.5	+ 9
経常利益		26	11	17	46	3.0	37	2.3	40	2.3	+ 2
親会社株主に帰属する 当期純利益		10	7	△56	31	2.0	41	2.5	26	1.5	△ 15
為替平均 レート(円)	米ドル	110.2	109.3	107.0	109.0		131.3		130.0		△ 1.3
	ユーロ	130.9	121.6	121.5	129.8		136.9		140.0		+ 3.1
期末配当(円)		30	30	0	30		30		30		-

国内売上高予想

国内売上高

農業の構造変化に対応した大型機械・スマート農機の増販及び、
価格改定効果などにより増収を見込む

(単位:億円)

		18/12期	19/12期	20/12期	21/12期	22/12期	23/12期	前期比
		実績	実績	実績	実績	実績	予想	
農機関連	農機製品	565	530	486	496	469	525	+ 55
	作業機	202	200	204	220	205	215	+ 9
	部品	148	150	156	153	156	161	+ 4
	修理収入	55	57	58	59	58	62	+ 3
	小計	406	408	420	433	420	438	+ 17
計		971	938	906	930	889	963	+ 73
施設工事		56	45	61	42	43	56	+ 12
その他農業関連		199	193	191	201	193	196	+ 2
合計		1,228	1,177	1,159	1,173	1,126	1,215	+ 88

海外売上高予想

海外売上高

北米のコンパクトトラクタ市場は引き続き調整局面と想定
欧州・アジアでの増収を見込む

(単位:億円)

	18/12期 実績	19/12期 実績	20/12期 実績	21/12期 実績	22/12期 実績	23/12期 予想	前期比
北米	115	132	128	151	195	188	△ 7
欧州	138	128	139	159	251	262	+ 10
アジア	73	55	62	91	86	94	+ 7
その他	4	5	3	5	6	6	0
連結売上高合計	331	321	333	407	539	550	+ 10

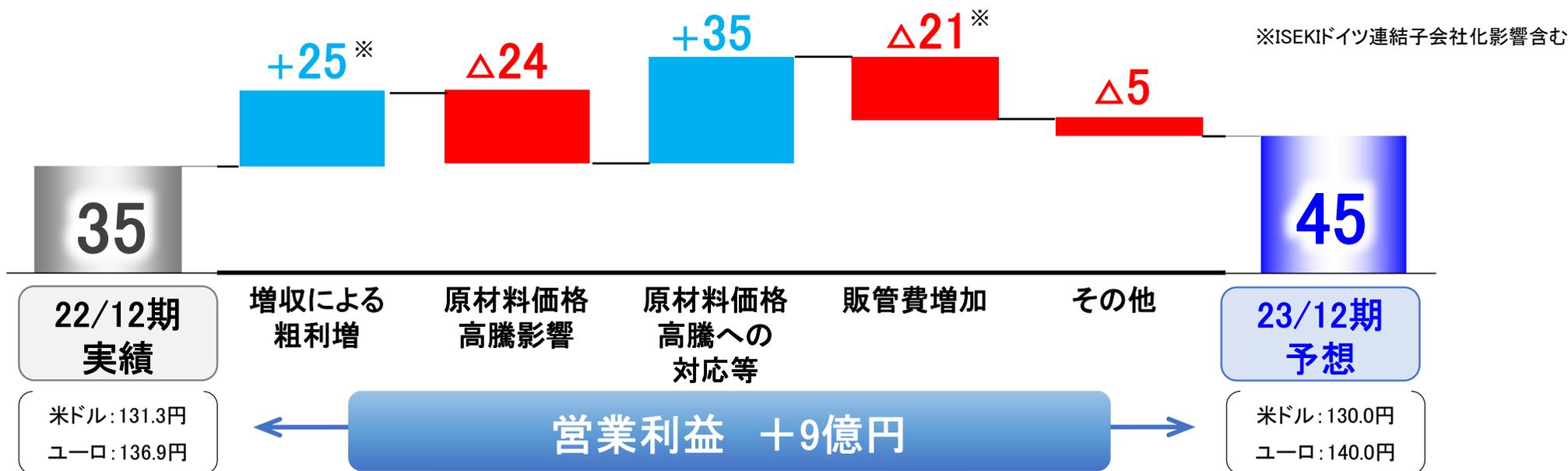
連結営業利益増減要因

前期比

+9億円

原材料価格高騰に伴う収益圧迫はあるものの、増収及び価格改定による売上総利益の増加に加え、構造改革と経営効率化の更なる取り組みにより増益を見込む

(単位: 億円、%)	21/12期 実績		22/12期 実績		23/12期 予想		前期比	
	金額	%	金額	%	金額	%	金額	%
営業利益	41	2.6	35	2.1	45	2.5	+9	+0.4%



将来の見通しに関する記述についての注意

- ・本資料は、情報提供を目的として作成しており、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。
- ・本資料は、現時点で入手可能な情報に基づき、当社が作成したものでありますが、潜在的风险や不確実性が含まれており、経済情勢や市場動向の変化等により実際の結果と必ずしも一致するものではありません。
- ・ご利用に際しては、ご自身の判断でお願い致します。

本資料に掲載している業績予想や目標数値に依存して投資判断を下すことによって生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負いません。



未来の
ために、
いま選ぼう。

井関グループは、
環境省による地球温暖化対策に資するあらゆる「賢い選択」を
促す国民運動である【COOL CHOICE】の取組みに賛同しています。
「賢い選択」の提案として「エコ商品」など
環境に配慮した商品の開発普及を推進しています。

食から日本を考える。

**NIPPON
FOOD
SHIFT**